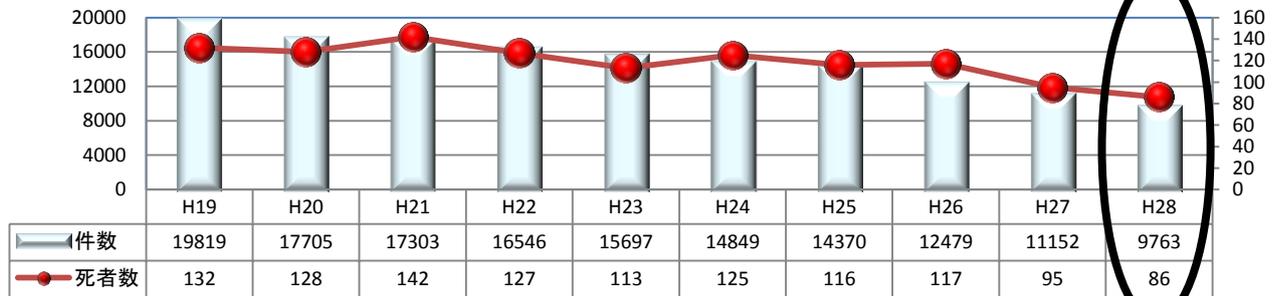


事故に遭わない!! 起こさない!! 交通安全は県民一人ひとりの心掛けから!!

～ 平成28年中の交通事故死者数の特徴 ～

1 人傷事故発生件数及び死者数(過去10年間の推移)

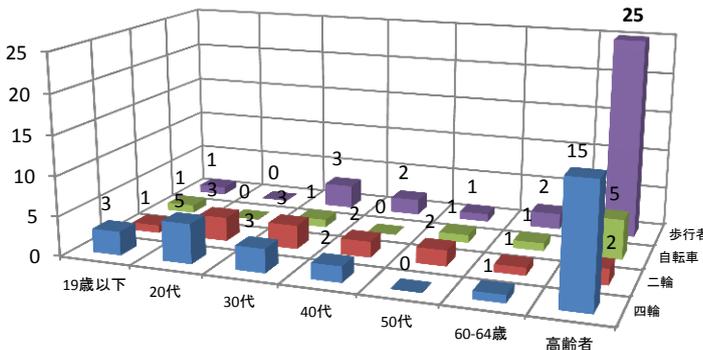


平成28年中の発生件数, 死者数ともに減少しました。

発生件数は平成19年に比べ, 約半数に減少しており, 死者数は統計を取り始めた昭和23年以降, 過去最少でした。

2 交通事故死者数の特徴(平成28年中)

各年齢層の状態別



	平成28年中の死者数				合計
	四輪	二輪	自転車	歩行者	
19歳以下	3	1	1	1	6
20代	5	3	0	0	8
30代	3	3	1	3	10
40代	2	2	0	2	6
50代	0	2	1	1	4
60-64歳	1	1	1	2	5
高齢者	15	2	5	25	47
合計	29	14	9	34	86

平成28年中は全死者(86人中)の半数以上が高齢者(47人:54.7%)と他の年齢層より死者数が多いことが分かります。

高齢死者は歩行中が最も多く, 全歩行中死者の中でも約7割(73.5%)を占め, 高い割合です。

各状態別の事故類型

	四輪	二輪	自転車	歩行者	総計
横断中	0	0	0	19	19
横断以外	0	0	0	14	14
正面衝突	9	2	2	0	13
出合頭	2	4	2	0	8
右左折時	0	3	0	0	3
単独	16	4	3	0	23
その他衝突	2	1	2	0	5
列車	0	0	0	1	1
合計	29	14	9	34	86

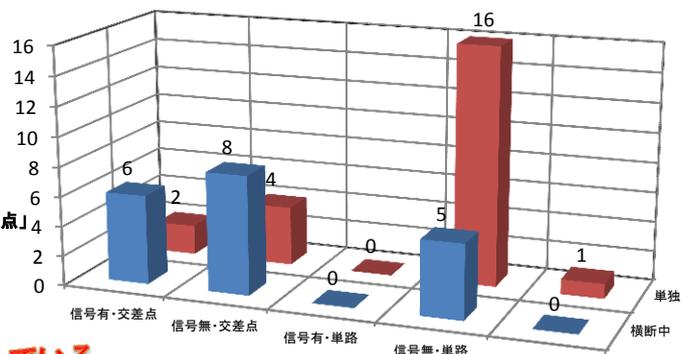
横断中・単独

が多い!!

横断中は「信号なし・交差点」
単独は「信号なし・単路」

が多い!!

横断中・単独事故の道路形状別



自宅付近など通り慣れた道にも危険が潜んでいる。

道路を横断するときや交差点を進行するときは, 左右の安全を確認して交通事故に遭わないようにしましょう。